

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0101	科 目 名	パソコン入門		科目区分	兼任	
科 目 群	一般教養	担当講師	小島善文／伊東達三		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	1	授業形態	実習
教 科 書	30 時間でマスター Word&Excel 2016 / プレゼンテーション+PowerPoint 2016			教材・参考書：補足資料・補足課題			
成績評価	毎回の課題提出、理解度で総合的に評価する。						

1. 授業概要

PCの基本操作に始まり、Word・Excel・PowerPointの基本的な操作を解説・例題・実習を行うことで段階的に理解を深める。

2. 到達目標

各種課題を通して基礎から応用までの理解度を上げ、多様な利用が出来る基礎能力を取得する。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション（授業概要の説明）
2	PC基本 ログイン、WINDOWS基本操作、データの提出・保存方法について
3	Word基本 基本設定・操作、各種文字入力・変換
4	Word基本 文書の設定・入力・変換・編集
5	Word応用 文書の編集（配置）
6	Word応用 文書の編集（表挿入）
7	Word応用 文書の編集（図形挿入）
8	Word応用 文書の編集（総合）
9	Excel基本 基本設定・操作、数値入力
10	Excel基本 基本的なワークシートの編集
11	Excel応用 ワークシートの編集
12	Excel応用 グラフの作成
13	Excel応用 グラフの作成
14	Excel応用 ワークシートの編集、グラフの作成（総合）
15	Word・Excelまとめ
16	PowerPoint 基本設定・操作／テンプレートを使った編集
17	PowerPoint スライドの作成
18	PowerPointまとめ

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	110	科 目 名	日本語講座			科目区分	兼任
科 目 群	一般教養	担当講師	小野 恭子			履修区分	選択必修
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書			
成績評価	試験 70%、小テスト 10%、提出物 10%、授業への貢献度 10%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。

2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の 4 技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	漢字・語彙・文法（1.自動詞・他動詞／1.助詞①）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.複合動詞①／2.助詞②）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.複合動詞②／3.接続表現①）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.する動詞／4.接続表現②）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.意味のある動詞／5.受身・使役・使役受身）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.い形容詞／6.文末表現）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.な形容詞／7.敬語①尊敬語）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.対義語①／8.敬語②謙譲語）、読解問題
10	漢字・語彙・文法（9.対義語②／9.敬語③丁寧語・美化語）、聴解問題
11	漢字・語彙・文法（10.副詞／10.敬語④）、読解問題
12	漢字・語彙・文法（11.擬音語・擬態語／JLPT 対策問題）
13	漢字・語彙・文法（12.カタカナ語①／JLPT 対策問題）
14	漢字・語彙・文法（13.カタカナ語②／JLPT 対策問題）
15	期末テスト対策
16	期末試験
17	試験対策、課題提出
後期	
1	漢字・語彙・文法（1.漢字読み・表記／1.文の文法1）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.漢字読み・表記／2.文の文法1）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.文脈規定（動詞・名詞）／3.文の文法2）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.文脈規定（形容詞）／4.文の文法2）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.言い換え類義（動詞・名詞）／5.文章の文法3）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.言い換え類義（形容詞・副詞）／6.文章の文法3）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.用法（動詞・名詞）／7.文法形式まとめ）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.用法（動詞・名詞）／8.文法形式まとめ）、読解問題
10	漢字・語彙・文法（9.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）、聴解問題
11	漢字・語彙・文法（10.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）、読解問題

1 2	総合問題
1 3	総合問題
1 4	総合問題
1 5	期末テスト対策
1 6	期末試験
1 7	試験解説、課題提出

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	103	科 目 名	社会人基礎力講座		科目区分	非常勤	
科 目 群	一般教養	担当講師	相原 芳美		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	使用しない			参考書	レジュメ・ワークシート		
成績評価	提出課題 60% 課題内容 30% まとめテスト 20%						

1. 授業概要

振返りやグループワークを通して、就職に対する意識を高め、就職活動に向けての準備をする。会社の仕組みや企業が求める人材について理解する。

2. 到達目標

マナーやコミュニケーションなどの基礎的な社会性（社会人基礎力）を身に付けることが出来る。

3. 授業計画

後期	
1	本授業の目的の理解・「働くということ」「社会人基礎力」の意味と意義の理解
2	社会人に必要なマナーの理解（挨拶・言葉遣い・第一印象・SNS 利用のマナー）
3	コミュニケーション力向上ワークショップ
4	「チームワーク」向上のワークショップ
5	「前に踏み出す力」向上のワークショップ
6	「考え抜く力」向上のワークショップ
7	まとめテスト
8	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 I
9	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 II
10	「自己理解」のためのワークショップ①（価値分析・モチベーション）
11	「自己理解」のためのワークショップ②（好きなこと・得意なこと）
12	「自己理解」のためのワークショップ③（社会人基礎力の再評価・自己PR）
13	まとめテスト
14	会社の仕組みとハウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構え
15	面接練習・まとめテスト
16	試験対策
17	課題提出・解説

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	108	科 目 名	一般教養講座Ⅰ			科目区分	兼任・非常勤
科 目 群	一般教育	担当講師	菅野敬祐・麻生裕之			履修区分	選択
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	各授業でプリント配布			参考書			
成績評価	各課題提出 60%、課題の点数 30%、授業への貢献度 20%						

1. 授業概要

過去に学習した範囲の数学と漢字の復習し理解を深める。また、就職試験に必要な基礎学力を身に付ける。授業は演習形式で、各回オリジナルの課題で行う。

2. 到達目標

授業に必要な基礎学力の向上を図り、授業での理解度や予習・復習が出来るようになる。また、新聞記事を読んで設問に答えられる一般教養面も向上させる。

3. 授業計画

前期			
1	漢字：読み取り・書き取り①	数学：式の計算	読売ワークシート
2	漢字：読み取り・書き取り②	数学：多項式と単項式の乗除	読売ワークシート
3	漢字：形が似ている漢字	数学：乗法公式	読売ワークシート
4	漢字：同音異義語・同訓異字	数学：因数分解	読売ワークシート
5	漢字：敬語表現・熟語	数学：平方根	読売ワークシート
6	漢字：類義語・対義語	数学：1 次方程式	読売ワークシート
7	漢字：ことわざ・慣用句	数学：連立方程式	読売ワークシート
8	漢字：三字熟語・四字熟語	数学：2 次方程式	読売ワークシート
9	漢字：音読み・訓読み①	数学：2 次方程式の活用	読売ワークシート
10	漢字：間違いやすい漢字①	数学：1 次関数	読売ワークシート
11	漢字：学習漢字の音訓	数学：関数 $y = a \times 2$	読売ワークシート
12	漢字：熟語の成り立ち・読み方	数学：立体の表面積・体積	読売ワークシート
13	漢字：故事成語・名言格言	数学：平行線と角・相似	読売ワークシート
14	漢字：間違いやすい漢字②	数学：三平方の定理	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
16	期末試験		
17	試験解説、課題提出		

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	109	科 目 名	一般教養講座Ⅱ			科目区分	兼任・非常勤
科 目 群	一般教育	担当講師	菅野敬祐・麻生裕之			履修区分	選択
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	各授業でプリント配布			参考書			
成績評価	各課題提出 60%、課題の点数 30%、授業への貢献度 20%						

1. 授業概要

過去に学習した範囲の数学と漢字の復習し理解を深める。また、就職試験に必要な基礎学力を身に付ける。授業は演習形式で、各回オリジナルの課題で行う。

2. 到達目標

授業に必要な基礎学力の向上を図り、授業での理解度や予習・復習が出来るようになる。また、新聞記事を読んで設問に答えられる一般教養面も向上させる。

3. 授業計画

後期			
1	漢字：一字漢字の読み・書き①	数学：多項式の乗法・公式	読売ワークシート
2	漢字：一字漢字の読み・書き②	数学：式の展開・因数分解	読売ワークシート
3	漢字：一字漢字の読み・書き③	数学：根号を含む式の乗法	読売ワークシート
4	漢字：熟語の読み・書き①	数学：根号を含む式の計算	読売ワークシート
5	漢字：熟語の読み・書き②	数学：2 次方程式とその解	読売ワークシート
6	漢字：熟語の読み・書き③	数学：2 次方程式の解き方	読売ワークシート
7	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：2 次方程式の利用	読売ワークシート
8	漢字：誤りやすい読み・書き	数学：関数 $y = a x^2$ ・グラフ	読売ワークシート
9	漢字：同訓異字・同音異義語	数学：2 次関数の変域・変化の割合	読売ワークシート
10	漢字：二字熟語	数学：放物線と直線	読売ワークシート
11	漢字：三字熟語	数学：相似な図形・相似の利用	読売ワークシート
12	漢字：四字熟語	数学：相似な図形の面積比・体積比	読売ワークシート
13	漢字：類義語	数学：円周角の定理・利用	読売ワークシート
14	漢字：対義語	数学：三平方の定理・利用	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
16	期末試験		
17	試験解説、課題提出		

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	111	科 目 名	海外研修			科目区分	
科 目 群	一般教養	担当講師	校長			履修区分	選択
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	無し			参考書	無し		
成績評価	報告書 100%						

1. 授業概要

年度末の3月に海外へ10日間の語学研修を実施

2. 到達目標

知識見聞を広め、グローバル社会を理解する。

3. 授業計画

後期	
1	【研修内容】 前々年度実績 変更有 渡航予定地 オーストラリア アデレード 研修先 ENGLISH COLLEGE OF ADELAIDE 語学研修時間 9:00～16:00 6時間×5日間 のべ30時間 宿泊 9日間 ホストファミリー宅 単位認定に係わる認定時間 語学研修 30時間 文化交流 90時間 120時間 学校としての成績評価 評価は報告書内容による 学校としての単位認定基準 帰国後3週間以内に報告を提出した者 認定単位2単位

科目の教育目標・授業計画「2021年度」前期					学 科 名	共通
科目番号		科 目 名	社会人教養講座Ⅰ		科目区分	非常勤
科 目 群	教養	担当講師	天野 誠一		履修区分	選択
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	授業形態	講義
教 科 書	使用しない			教材・参考資料 適宜、資料配布		
成績評価	課題提出、授業態度他					

1. 授業概要

世界を震撼させたコロナ禍は、なお衰えておらず、現代の社会のあり方に変革を迫っている。これから社会人としての一歩を踏み出す学生の皆さんは、特に、コロナ禍に伴う社会構造の急激な変化について正しい知識と冷静な判断力が求められている。ネット社会の弱さ・危険性を踏まえ、私たちは、どう生きていけばいいのか、一緒に考えていきたい。

講師の読売新聞社中部支社での新聞記者としての知識と経験を通して、社会の情勢や時事問題など講義と共に、実践的な文書作成の知識などから学ぶ。

2. 到達目標

自分を見つめ、自分の目指す方向をしっかりと定め、自分自身の方法で表現していく。仕事、友人、家族との関係を手がかかりに、社会に参画する方法を見つけ出していく。

3. 授業計画

前期1	2021年とはどういう年か。世界の人口は78億人だが、日本をはじめ先進国は人口減少時代
2	働き方改革とは何か 働くことの意味、仕組みを学んでいく。
3	厚生労働省のテキスト1
4	厚生労働省のテキスト2
5	厚生労働省のテキスト3
6	厚生労働省のテキスト4
7	厚生労働省のテキスト5
8	厚生労働省のテキスト6
9	厚生労働省のテキストまとめ
10	社会の仕組み 雇用保険 健康保険
11	ブラック企業とは何か
12	危機管理の重要性
13	個人情報とは何か
14	ハラスメントはどこにでもある
15	新聞報道と民主主義
16※1	消費者教育「社会への扉」1
17※1	消費者教育「社会への扉」2

※1 オンデマンド、文献調査または特別講義（消費者庁）

科目の教育目標・授業計画「2021年度」後期					学 科 名	共通	
科目番号		科 目 名	社会人教養講座Ⅱ		科目区分	非常勤	
科 目 群	教養	担当講師	天野 誠一		履修区分	選択	
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	使用しない			教材・参考資料 適宜、資料配布			
成績評価	課題提出その他						

1. 授業概要

世界を震撼させたコロナ禍は、なお衰えておらず、現代の社会のあり方に変革を迫っている。これから社会人としての一歩を踏み出す学生の皆さんは、特に、コロナ禍に伴う社会構造の急激な変化について正しい知識と冷静な判断力が求められている。ネット社会の弱さ・危険性を踏まえ、私たちは、どう生きていけばいいのか、一緒に考えていきたい。

講師の読売新聞社中部支社での新聞記者としての知識と経験を通して、社会の情勢や時事問題など講義と共に、実践的な文書作成の知識などから学ぶ。

2. 到達目標

自分を見つめ、自分の目指す方向をしっかりと定め、自分自身の方法で表現していく。仕事、友人、家族との関係を手がかかりに、社会に参画する方法を見つけ出していく。

3. 授業計画

後期 1	人類の歴史 宇宙の歴史 物の見方
2	自分を表現する。自己紹介 エントリーシート、ポケット
3	作文のやさしい書き方 入門
4	レポート メモ 手紙
5	自己アピールのポイント 古里 趣味 家族
6	会社の選び方
7	いい会社と悪い会社 会社選びの10問
8	面接をする側の気持ち、される側の気持ち
9	作文のやさしい書き方 応用編
10	社会の仕組み 年金 税金
11	失敗から学ぶ ミスの原因
12	コロナ禍と各国の対応 どのように生きるか
13	自分の国をどうアピールするか
14	情報の信頼性 正しい情報はどこから得られるか
15	全体まとめ
16※2	最低限身に付けるべき金融リテラシー1
17※2	最低限身に付けるべき金融リテラシー2

※2 オンデマンド、文献調査または特別講義（金融庁）

科目の教育目標・授業計画 「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0201	科 目 名	建築学概論			科目区分	専任・兼任
科 目 群	専門基礎	担当講師	小川貴之 他			履修区分	必修
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	なし			教材・参考書：補足資料など			
成績評価	毎回のレポート、理解度で総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築分野の概要を学び、建築を主とした様々な専門分野の相互関係を理解する。

2. 到達目標

分野の大まかな体系を捉えることで、これから学ぶ科目を理解する基盤となる知識を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	建築を学ぶ（1）
2	建築を学ぶ（2）
3	歴史と建造物（1）
4	歴史と建造物（2）
5	建築構法（1）
6	建築構法（2）
7	ものづくりとインテリア（1）
8	ものづくりとインテリア（2）
9	建築と都市（1）
10	建築と都市（2）
11	ランドスケープ（1）
12	ランドスケープ（2）
13	建築構造（1）
14	建築構造（2）
15	建築設計（1）
16	建築設計（2）
17	建築分野総括（1）
18	建築分野総括（2）

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0301	科 目 名	建築計画A			科目区分	兼任
科 目 群	建築計画	担当講師	大田真			履修区分	必修
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	初学者の建築講座 建築計画			教材・参考書：プリント、写真（プロジェクター）			
成績評価	4 回の定期試験と授業内で出す課題点、平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

環境、法規、寸法、歴史などの基礎知識をベースとして、独立住宅・集合住宅・事務所の建築計画の理論を学び、主に住空間・オフィス空間についての知識を幅広く身につける。

2. 到達目標

住空間・オフィス空間に関する知識・理論を、設計の実践に生かすことができる。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス（授業概要説明）
2	第1章 計画と設計
3	建築計画における調査、 モジュール、 第8章 自然現象の知覚
4	第8章 視覚と建築
5	第8章 視覚と建築
6	第8章 視覚と建築・寒暑感覚と建築
7	第8章 寒暑感覚と建築
8	第8章 寒暑感覚と建築
9	第8章 聴覚と建築
10	第8章 聴覚と建築・近代建築三大巨匠の比較／考察
11	まとめ講義、問題演習
12	第2章 居住施設の計画（住洋式と住宅の変化）（戸建住宅）
13	第2章 居住施設の計画（戸建住宅）
14	第2章 居住施設の計画（戸建住宅） 課題：戸建住宅のゾーニング（その1）
15	第2章 居住施設の計画（戸建住宅） 課題：戸建住宅のゾーニング（その1）
16	第2章 居住施設の計画（戸建住宅） 解説・プレゼン：戸建住宅のゾーニング（その1）
17	第2章 居住施設の計画（戸建住宅） 夏季課題（任意提出）：住宅の住まい方の特徴をつかむ
18	課題発表、まとめ
後期	
1	ガイダンス（前期振り返り、後期授業概要説明）
2	第2章 居住施設の計画（戸建住宅） 課題：戸建住宅のプランニング（その2）
3	第2章 居住施設の計画（戸建住宅） 課題：戸建住宅のプランニング（その2）
4	戸建住宅の事例研究 解説・プレゼン：戸建住宅のプランニング（その2）
5	課題発表、まとめ
6	第2章 居住施設の計画（集合住宅）
7	第2章 居住施設の計画（集合住宅）
8	第2章 居住施設の計画（集合住宅）
9	第2章 居住施設の計画（集合住宅）
10	第2章 居住施設の計画（集合住宅） 課題（任意提出）：集合住宅のユニットプラン（その1）

1 1	<u>集合住宅の事例研究</u>
1 2	課題発表、まとめ
1 3	第2章 居住施設の計画（細部計画）
1 4	第2章 居住施設の計画（細部計画） 階段
1 5	第6章 規模計画と経済効率・事務所ビルの変遷
1 6	第6章 事務所ビルの計画・事務所ビルの各部計画
1 7	<u>事務所ビルの事例研究</u>
1 8	（エコロジカル建築 <u>エコロジカル建築の事例研究</u> ）

科目の教育目標・授業計画 「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0302	科 目 名	建築計画B			科目区分	兼任
科 目 群	建築計画	担当講師	大田真			履修区分	必修
開講学年	2 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	初学者の建築講座 建築計画			教材・参考書：プリント、写真（プロジェクター）			
成績評価	4 回の定期試験と授業内で出す課題点、平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

多様な建築用途について、各用途における理論や考え方を身に付ける。

2. 到達目標

各用途に関する知識・理論を、設計の実践に生かすことができる。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス（授業概要説明）
2	第6章 百貨店・スーパーマーケットの計画
3	第6章 店舗…物販店／飲食店の計画
4	第6章 店舗…物販店／飲食店の計画 課題：飲食店のプランニング
5	第6章 店舗…物販店／飲食店の計画 課題：飲食店のプランニング
6	課題発表、まとめ 解説・プレゼン：飲食店のプランニング
7	第3章 幼稚園の計画
8	第3章 幼稚園の計画
9	第3章 幼稚園の計画 幼稚園の事例研究
10	第3章 小学校・中学校の計画
11	第3章 小学校・中学校の計画
12	第4章 学校の事例研究 生活圏とコミュニティ施設 図書館の計画
13	第4章 図書館の計画 課題：図書館のプラン解析
14	第4章 図書館の計画 図書館の事例研究 解説：図書館のプラン解析
15	課題発表、まとめ
16	第4章 美術館の計画
17	第4章 美術館の計画
18	美術館の事例研究 夏季課題（任意提出）：美術館の見学・レポート
後期	
1	ガイダンス（前期振り返り、後期授業概要説明）
2	第4章 コミュニティセンター・公民館の計画
3	第5章 高齢社会と建築計画 高齢化社会の今後の都市開発
4	第5章 病院の計画
5	第5章 病院の計画 高齢者施設の計画
6	第5章 高齢者施設の計画
7	病院・高齢者施設の事例研究
8	WCの計画（P.35 参考） 課題：WCの計画
9	WCの事例研究 解説・プレゼン：WCの計画
10	課題発表、まとめ
11	第6章 劇場・音楽ホール of 計画

1 2	第 6 章 劇場・音楽ホールの計画、事例研究	
1 3	第 6 章 劇場・音楽ホールの計画	課題・解説：オーディトリウムプラン解析
1 4	第 6 章 駐車場の計画 (P. 133 参考)	課題：駐車場のレイアウト
1 5	第 7 章 外部空間の把握	解説：駐車場のレイアウト
1 6	課題発表、まとめ	
1 7	第 7 章 外部空間の計画手法	
1 8	建物のリサイクル (リノベーション、コンバージョン)、事例研究	

科目の教育目標・授業計画 「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0303	科 目 名	建築史			科目区分	専任
科 目 群	建築計画	担当講師	関村啓太			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	大橋竜太ほか『コンパクト版 建築史』			教材・参考書 配布資料			
成績評価	中間試験 3 0 %、期末試験 3 0 %、レポート 3 0 %、その他平常点 1 0 %で総合的に評価する。						

1. 授業概要

日本及び西洋に分けて近代建築史までの概要を習得させる。様式史、技術史的観点から解説するとともに、現代建築への影響など、写真、図表等を用いてビジュアルに講義し、その意義について理解する。

2. 到達目標

建物の発生から、各地の建築作品の歴史を知ることにより、建築のあり方について考察できるようにする。

3. 授業計画

後期	
1	オリエンテーション（授業概要説明）
2	建築史とはなにか（概論）
3	日本の古代建築（寺院・神社）
4	日本の古代建築（住宅・都市）
5	日本の中世建築（寺院・神社・住宅）
6	日本の近世建築（城郭・住宅）
7	日本の近世建築（茶室、寺院）
8	東洋の建築（イスラーム、中国建築の概説）
9	映像『日本の近代建築の夜明け 旧岩崎邸庭園』上映ならび解説
10	日本建築史まとめ
11	ギリシャ建築・ローマ建築
12	ビザンチン建築・ロマネスク建築・ゴシック建築
13	ルネサンス建築・バロック建築
14	近代建築（産業革命から 19 世紀までの建築）
15	近代建築（モダニズム建築）
16	日本の近代建築（幕末から 1950 年代まで）
17	ヴァナキュラー建築の世界
18	西洋建築史まとめ

科目の教育目標・授業計画 「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0304	科 目 名	都市計画			科目区分	専任・実務家教員
科 目 群	建築計画	担当講師	小川 貴之			履修区分	必修
開講学年	2 年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	『都市計画とまちづくりがわかる本』伊藤雅春他 彰国社			教材・参考書：随時プリントを配布			
成績評価	試験（中間試験、期末試験）、平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

歴史的、技術的な側面から、都市計画・まちづくりの基本を学ぶ。

2. 到達目標

事例を通して、都市計画、まちづくりの手法や法規的制約などの知識が習得できる。 講義形式を基本とするが、K J 法を用いたワークショップを行うなど実用的な学習も体験する。担当教員は、都市計画マスタープラン策定委員に関わった経験があり、都市計画、まちづくりの実務経験に基づき実際の業務に近い授業を展開する。

3. 授業計画

後期	
1	ガイダンス（授業概要説明）
2	都市とは何か。都市計画、まちづくりの定義
3	世界の都市計画史と思潮-1 古代～近世まで
4	日本の都市計画史と思潮-2 近代～現代まで
5	日本の都市計画史と思潮
6	都市計画史まとめ
7	都市計画の枠組み-1 都市計画と関連法規
8	都市計画の枠組み-2 都市計画法の位置づけと体系
9	都市計画の枠組み-3 都市のマスタープランについて
10	都市計画の枠組み-4 区画整理事業、開発許可制度について
11	都市計画の枠組み-5 地区計画、建築協定について
12	関連法規事例紹介、まとめ
13	諸外国の都市計画制度
14	参加のデザインとまちづくり 事例紹介
15	参加のデザインとまちづくり ワークショップ体験-1
16	参加のデザインとまちづくり ワークショップ体験-2
17	テーマ別まちづくり-1
18	テーマ別まちづくり-2

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0305	科 目 名	インテリア計画			科目区分	兼任
科 目 群	建築計画	担当講師	安松一雄			履修区分	必修
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	インテリア計画の知識			参考書			
成績評価	2 回の定期試験、演習と出席を総合的に評価する						

1. 授業概要

個性的なインテリアではなく、多くの人々の共通認識としての必要最小限のインテリア計画のための基本知識を学ぶ。

2. 到達目標

インテリア計画をする時のベースとなる基礎知識を習得する。インテリア空間を使う人間についての知識も重要であることを理解する。

3. 授業計画

前期	
1	講師自己紹介 授業の進め方と試験について その他
2	海外のインテリア 北欧のインテリア
3	インテリアとその歴史
4	インテリアとその歴史
5	インテリアと住生活
6	インテリアと人間
7	インテリアと人間
8	インテリアと環境
9	インテリアと安全
10	インテリアと構法
11	インテリアと構法
12	インテリアエレメントの設計
13	インテリアエレメントの設計
14	住まいのインテリア設計
15	住まいのインテリア設計
16	商業施設のインテリア設計
17	教育施設のインテリア設計
18	インテリア関連法規

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0401	科 目 名	環境工学			科目区分	兼任
科 目 群	建築設備	担当講師	加藤 諭			履修区分	必修
開講学年	2 年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	図解 建築環境工学の知識			教材・参考書：プリントの配布			
成績評価	試験（中間及び期末試験）60％ その他平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築環境工学に関する基礎的な考え方、理論を理解する。

2. 到達目標

建築実務及び建築系資格に対応した環境工学全般について理解し、専門知識を習得する。
--

3. 授業計画

後期	
1	授業ガイダンス
2	環境工学の概要・SI 単位系（本授業で取り上げる単位等）
3	採光①：明視の条件・光の単位・輝度対比・グレア・昼光率・均斉度・建物の採光特性・昼光利用等
4	採光②：人工採光（照明）・配光・照度計算・照明方式・色温度・照度基準・各種光源の特性と種別等
5	外部環境①：日較・年較差・デクリデ - ・卓越風都市環境と地球環境、ヒートアイランド、温暖化、オゾン層破壊等
6	外部環境②：日照・日射・日影・太陽の高度と方位角・日照時間と可照時間・日照の調整・南中時等
7	採光、外部環境まとめ、問題演習
8	色彩①：色の三属性・色の三原色（混色）・マンセル表色系・オストワルト表色・XY 表色・色彩心理効果等
9	色彩②：色の表れ方・演色性・色彩対比・色彩調整・安全色・建築及びインテリアへの色彩応用等
10	音響①：音の三要素・音の伝わり方・音の速度・音の合成・可聴域・等ラウドネス曲線・カケルパーラー効果等
11	音響②：明瞭度・了解度・残響時間・許容騒音レベル・建物の音響計画・遮音性能・防音と吸音等
12	色彩、音響まとめ、問題演習
13	自然換気：室内の空気環境・大気汚染物質・室内空気汚染原因・汚染物質と必要換気量・空気齢等
14	自然換気：自然換気特性（重力、風力）・各種換気算定（火気使用、シックハウス、法令）、機械換気3種等
15	熱環境①：熱移動の基本・熱伝導率・熱貫流率と熱貫流抵抗・熱放射・中空層と熱抵抗等
16	熱環境②：日射による熱への影響・相当外気温度差・日射遮蔽係数・建物の熱特性・壁の熱容量等
17	熱環境③：湿り空気・露点温度（結露点）・空気線図・結露現象・外部結露と表面結露・断熱効果等
18	換気、熱環境まとめ 問題演習

科目の教育目標・授業計画 「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0402	科 目 名	建築設備			科目区分	専任
科 目 群	建築設備	担当講師	加藤諭			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	図解建築設備の知識 [改訂 3 版] (オーム社)			教材・参考書：プリントの配布			
成績評価	試験（中間及び期末試験）60％ その他平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築設備の各項（衛生・空調・電気）について用語・方式・法的基準・施工技術等について理解する。
--

2. 到達目標

建築実務及び建築系資格に対応した建築設備全般について理解し、専門知識を習得する。
--

3. 授業計画

前期	
1	授業ガイダンス
2	建築設備の概要：設備業態・設備資格・建築基準法との関連・設備と躯体関連
3	給水設備①：上水の概要・戸建住宅等の給水・給水圧の規定値・給水器具の分類・関連用語の解説
4	給水設備②：給水方式（5 方式）・受水槽の構造及び設置規定・受水槽の容量算定（給水計算）
5	給水設備③：給水ポンプの構造と種別・給水ポンプ能力の算定・給水配管材（口径と配管抵抗）
6	給湯設備：給湯方式・給湯器の構造と種別・出湯号数・電気式温水器の仕組み・給湯配管材
7	排水設備①：排水方式（合流・分流）・トラップ の構造と規定値・トラップ の封水破壊と保護・排水勾配
8	排水設備②：排水通気方式（ルーフ通気と伸張通気）・排水処理・浄化槽の構造と法的規定・排水管
9	排水設備③：特殊排水処理（厨房排水など）・雨水排水処理・排水桝の種別・排水槽の構造
10	衛生器具設備：衛生器具種別と特性・衛生器具の機能性
11	給排水設備まとめ、問題演習
12	ガス設備：ガス種別（LPG と LNG）・ガス圧区分・ガス漏れ警報器の設置規定・ガスの安全使用
13	消火設備①：消防法の構成・屋内消火栓、屋外消火栓の各構造と法令規定
14	消火設備②：スプリンクラー、ドレンチャー、パッケージ消火設備の各構造と法令規定
15	消火設備③：連結送水管、連結散水、特殊消火設備（ガス系・泡・粉末・水噴霧）の法令規定
16	衛生設備の配管方式①：PS（パイプスペース）の計画、MB（メーターボックス）の計画
17	衛生設備の配管方式②：配管方式（床上・床下・さや管ヘッダ方式）・衛生配管種別
18	ガス、消火設備まとめ、問題演習
後期	
1	授業ガイダンス（前期振り返り、後期授業概要）
2	換気設備：機械換気の目的・機械換気方式・ファン類の種別・法令上の換気計算・全熱交換機等
3	排煙設備：建築排煙と消防排煙の目的・機械排煙方式・法令上の排煙規定・付室加圧給気防煙等
4	空調設備①：空気調和の基本・室内温熱環境・空気の状態変化・空調（冷暖房）負荷等
5	空調設備②：空調用熱源設備・冷凍機の特性と種別・ボイラーの特性と種別・冷却塔・ヒートポンプ
6	空調設備③：空気調和機（AHU・FCU）の特長・空調配管及びダクト、制気口、ダンパの役割
7	空調設備④：空気調和方式（単一ダクト、二重ダクトなど）・個別空調（パッケージ空調）等
8	換気・空調設備まとめ、問題演習
9	電気設備①：電気設備の概要・関連法規・電気基礎理論・受電・変電（キュービクル）・幹線等
10	電気設備②：動力設備・分電盤（動力盤）の構成・電力量計・回路の構成・自家発電及び蓄電池等
11	電気設備③：照明（電灯）コンセント設備・コンセントとスイッチの種別・照明器具と照明方式等

1 2	電気設備④：弱電設備（通信、LAN、ITV、TV共聴他）・避雷設備・自動制御設備等
1 3	防災設備①：非常照明（建基法）及び誘導灯、非常コンセント・無線通信補助設備（消防法）の基準等
1 4	防災設備②：自動火災報知・非常警報・非常放送・漏電火災警報器設備（消防法）の設置基準等
1 5	搬送設備：エレベータ及びエスカレータの構造、法令基準・その他搬送設備等
1 6	省エネルギー設備①：建築物省エネ法基準・PAL*と一次消費エネルギー係数・ライフサイクル等
1 7	省エネルギー設備②：コージェネレーション・蓄熱槽・太陽光発電・燃料電池等
1 8	電気・防災設備まとめ、問題演習

科目の教育目標・授業計画 「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0501	科 目 名	建築法規			科目区分	兼任
科 目 群	建築法規	担当講師	河村 春美			履修区分	必修
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	初学者の建築講座（建築法規）			教材・参考書：建築関係法令集			
成績評価	試験（中間及び期末試験）その他平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築基準法の内容全般を理解する。

2. 到達目標

実務上必要な知識とともに、二級建築士試験レベルに必要とされる部分を重点的に習得する。
--

3. 授業計画

前期	
1	授業ガイダンス
2	建築基準法の概要、法令用語の使い方
3	用語の定義－1（建築物、特殊建築物等）
4	用語の定義－2（耐火建築物、建築等）
5	面積と高さ－1（敷地面積、建築面積等）
6	面積と高さ－2（容積対象延べ面積、高さ、階数等）
7	問題演習
8	一般構造－1（採光）
9	前期中間試験前まとめ
10	一般構造－2（換気）
11	一般構造－3（天井高さ、便所等）
12	構造強度－1（木造一般）
13	構造強度－2（木造軸組み計算）
14	軸組み計算問題演習
15	構造強度－3（その他の構造）
16	耐火・防火（耐火建築物、準耐火建築物）
17	防火地域・準防火地域
18	前期期末試験前まとめ
後期	
1	授業ガイダンス（前期振り返り、後期授業概要説明）
2	防火区画
3	避難施設－1（2階段、避難階段等）
4	避難施設－2（排煙設備、非常用照明等）
5	道路と敷地
6	用途地域
7	建ぺい率
8	容積率－1（道路幅員による容積率の算定等）
9	問題演習
10	後期中間試験前まとめ
11	容積率－2（特定道路による容積率の算定等）

1 2	高さ制限－1（絶対高さ、道路斜線等）
1 3	高さ制限－2（道路斜線、2方向道路等）
1 4	高さ制限－3（隣地斜線、北側斜線）
1 5	問題演習
1 6	確認申請、建築手続き－1（確認申請等）
1 7	確認申請、建築手続き－2（建築手続き等）
1 8	後期期末試験前まとめ

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0601	科 目 名	構造力学 I			科目区分	兼任
科 目 群	建築構造	担当講師	井上 静			履修区分	必修
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	最新建築構造設計入門			教材・参考書			
成績評価	試験（中間試験、期末試験）80％、平常点や授業への貢献度20％						

1. 授業概要

構造物に働く力の基本的な知識を習得し、実際の構造物を合理的に設計する上で必要な基礎的な事を学ぶ。
--

2. 到達目標

静定構造物において力のつり合いを用い、どの部分にどのような力が生ずるか解けるようになる。
--

3. 授業計画

前期	
1	授業ガイダンス
2	1 章 構造物に働く力 1. 建築物に働く力 1)色々な建築物 2)働く力 3)建築物の表現
3	2. 力の基本 1) 力 1-1 力の表示 1-2 力のモーメント 1-3 偶力および偶力のモーメント
4	2) 力の合成と分解 2-1 一点に働く力の合成・分解
5	2-2 平行な力の合成・分解 2-3 バリニオンの定理
6	2-4 平行でない数力の合成
7	3) 力の釣合い 1-1 一点に働く力の釣合い 1-2 作用点の違う力の釣合い
8	3. 構造物と荷重および外力 1. 支点と節点 1-1 支点 1-2 節点
9	2) 荷重および外力 2-1 種類と表示 2-2 作用のしかた
10	4. 安定・静定 1) 構造物の安定・不安定 2) 構造物の静定・不静定 3) 判別式
11	5. 反力 1) 反力 2) 反力の求め方
12	例-1、例-2
13	例-3、例-4
14	問題演習、まとめ講義
15	2 章 静定構造物の部材に生じる力 1. 構造物に生じる力
16	1) 構造物に生じる力の種類 1-1 軸方向力 1-2 せん断力 1-3 曲げモーメント
17	2) 部材に生じる力の求め方 2-1 軸方向力 2-2 せん断力・曲げモーメント
18	問題演習、まとめ講義
後期	
1	授業ガイダンス（前期振り返り、後期授業概要説明）
2	3) 部材に生じる力の表し方 1-1 軸方向力図 1-2 せん断力図 1-3 曲げモーメント図
3	2. 静定梁 1) 単純梁 1-1 集中荷重 1-2 荷重とせん断力と曲げモーメントの関係
4	1-3 等分布荷重 1-4 等変分布荷重
5	1-5 モーメント荷重 2) 片持梁 例-1・例-2
6	3. 静定ラーメン 1) 片持梁系ラーメン 例-1
7	2) 単純梁系ラーメン 例-1
8	3) 3ピン式ラーメン 例-1
9	問題演習、まとめ
10	4. 静定トラス 1) トラス部材に生じる力
11	2) 節点法 2-1 図式解法 例-1

1 2	2-2 クレモナの図解法 例-1
1 3	2-3 算式解法 例-1
1 4	3) 切断法 例-1
1 5	4) トラス部材に生じる力の性質
1 6	二級建築士試験過去問題演習-1
1 7	二級建築士試験過去問題演習-2
1 8	全体まとめ講義

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0602	科 目 名	構造力学Ⅱ			科目区分	兼任
科 目 群	建築構造	担当講師	井上 静			履修区分	必修
開講学年	2 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	建築構造設計概論			教材・参考書			
成績評価	4 回の定期試験と演習を総合的に評価する。						

1. 授業概要

不静定構造物の応力の求め方を中心に実務で必要な荷重算定・応力算定などの構造計算の基礎を習得する。同時に、構造力学 1 の復習を行うことで一級、二級建築士試験の力学範囲を理解する。さらに構造設計と関連づけた授業を行うことで実務との関連を意識させる。

2. 到達目標

一般的に実設計でも用いられる不静定構造物の応力分布を求める方法（一級建築士資格試験の出題範囲含む）を習得すること。フレーム構造物の崩壊の仕方、そのときの荷重を求める手法を知ること、より丁寧な構造設計が可能となることを理解する。木造の構造計算の概要を理解する。

3. 授業計画

前半	
1	授業ガイダンス（授業概要説明）
2	不静定構造とは何か。免震構造ビデオ
3	鉛直荷重時応力算定（剛比）
4	鉛直荷重時応力算定（固定モーメント法手順説明）
5	鉛直荷重時応力算定（固定モーメント法例題 1）
6	鉛直荷重時応力算定（固定モーメント法演習問題 1）
7	鉛直荷重時応力算定（固定モーメント法演習問題解説）
8	鉛直荷重時応力算定（固定モーメント法演習問題 2・解説）
9	まとめ講義
10	試験の復習
11	水平荷重時応力算定（D 値法手順説明）
12	水平荷重時応力算定（D 値法例題）
13	水平荷重時応力算定（D 値法演習問題 1）
14	水平荷重時応力算定（D 値法演習問題 2）
15	一級建築士例題（固定モーメント法・D 値法）
16	崩壊荷重 全塑性モーメント 演習
17	崩壊荷重 演習
18	まとめ講義
後半	
1	授業ガイダンス（前期振り返り、後期授業概要説明）
2	試験の解説・DVD
3	構造力学 1 の復習（反力）
4	構造力学 1 の復習（応力）
5	構造力学 1 の復習（トラス）
6	構造力学 1 の復習（材料力学）
7	構造力学 1 の復習（座屈）

8	構造力学 1 の復習（総復習）
9	構造力学 1、2 総合問題
10	二次設計（層間変形角、偏心率）
11	二次設計（保有水平耐力の検討 例題）
12	まとめ講義
13	木造の構造計算（壁量例題）
14	木造の構造計算（風例題）
15	木造の構造計算（つりあいのよい壁量例題）
16	自分の設計図面の構造検討
17	自分の設計図面の構造検討
18	検討結果発表、解説

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0603	科 目 名	材料力学			科目区分	兼任
科 目 群	建築構造	担当講師	井上 静			履修区分	必修
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	建築構造設計概論			教材・参考書			
成績評価	2 回の定期試験、その他平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

部材の断面を安全でかつ経済的なものとなるよう、形や大きさを決める際の構造材料の力学的性質などについて理解する。

2. 到達目標

部材に生ずる力に対して、安全でかつ経済的に部材を設計する基本的解法を習得する。

3. 授業計画

後期	
1	ガイダンス（授業概要説明）
2	3 章 部材の性質と応力度 1. 断面の性質 1) 断面一次モーメントと図心
3	2) 断面二次モーメント
4	3) 断面係数
5	4) 断面二次半径 5) 断面の主軸
6	問題演習・解説
7	2. 構造材料の力学的性質 1) 応力度 1-1 垂直応力度
8	1-2 せん断応力度 2) ひずみ度 2-1 縦ひずみ度 2-2 横ひずみ度 2-3 せん断ひずみ度
9	3) 弾性体の性質 3-1 弾性・塑性・弾性係数 3-3 ヤング係数 3-4 せん断弾性係数
10	4) 材料の強さと許容応力度 4-1 応力度－ひずみ度曲線 4-2 許容応力度
11	3. 部材に生ずる応力度 1) 曲げモーメントを生ずる部材 1-1 梁の曲げ応力度
12	1-2 梁のせん断釣合い 1-3 梁のせん断応力度
13	1-4 梁の主応力度 1-5 曲げ材の設計
14	問題演習・解説
15	2) 引張力を生ずる部材
16	3) 圧縮力を生ずる部材 3-1 棒状部材の座屈 3-2 長柱公式
17	3-3 圧縮材の設計 3-4 偏心荷重を受ける圧縮材
18	問題演習・解説

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0604	科 目 名	鉄筋コンクリート構造			科目区分	兼任
科 目 群	構造	担当講師	殿廣 泰史			履修区分	選択必修
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	建築構造設計概論			教材・参考書			
成績評価	試験（中間試験、期末試験）60％、課題25％、平常点や授業への貢献度15％						

1. 授業概要

鉄筋コンクリートとは、建築物の骨組を構成する構造材料のうち、主要な材料の一つである。本講では鉄筋コンクリート構造の力学的特性を学び、それらを踏まえた設計法の基礎知識を身につける。

2. 到達目標

鉄筋コンクリート構造の基礎的な許容応力度設計ができるようになる。

3. 授業計画

後期	
1	授業ガイダンス
2	鉄筋コンクリート造の特徴：材料特性など
3	鉄筋コンクリート造の特徴：力学特性など
4	R C ラーメン構造 スラブの規定等概略
5	R C ラーメン構造 片持ちスラブ主筋の計算解説
6	R C ラーメン構造 四辺固定スラブ主筋の計算解説
7	R C ラーメン構造 梁の規定等概略
8	R C ラーメン構造 梁主筋の計算解説
9	R C ラーメン構造 梁帯筋の計算解説
10	R C ラーメン構造 梁の総合問題計算解説
11	講義まとめ、問題演習
12	R C ラーメン構造 柱の規定等概略
13	R C ラーメン構造 柱主筋の計算解説
14	R C ラーメン構造 柱帯筋の計算解説
15	R C ラーメン構造 柱の総合問題計算解説
16	R C ラーメン構造 基礎の規定等概略
17	R C ラーメン構造 基礎の計算解説
18	講義纏め、問題演習

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0605	科 目 名	鉄骨構造			科目区分	兼任
科 目 群	建築構造	担当講師	井上 静			履修区分	選択必修
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	最新建築構造設計入門			教材・参考書			
成績評価	2 回の定期試験と演習を総合的に評価する。						

1. 授業概要

構造設計の概要と構造物に作用する荷重・外力の種類学び、鋼構造に用いられる鋼材の種類や特性を理解する。

2. 到達目標

鋼構造の知識の習得と共に、接合部および主要な部材を決定するまでの方法論を修得する。

3. 授業計画

前期	
1	授業ガイダンス
2	5 章 構造設計の考え方 1. 構造設計の概要 1) 構造設計
3	2) 構造設計の流れ
4	3) 耐震規定「3.」
5	2. 荷重および外力の計算 1) 荷重の種類 2) 荷重の組合せ
6	7 章 鋼構造 1. 鋼構造 1) 概要 2) 鋼材 3) 許容応力度
7	2. 許容応力度設計 1) 接合部「8.」 1-1 高力ボルト
8	1-2 溶接
9	2) 引張材の設計「4.」 2-1 設計式 2-2 有効断面積
10	2-3 設計手順
11	3) 圧縮材の設計「5.」 3-1 設計式 3-2 許容圧縮応力度
12	3-3 設計手順
13	4) 部材の設計 4-1 応力と応力度 4-2 幅厚比
14	5) 梁の設計「6.」 5-1 形鋼梁の設計 5-2 許容曲げ応力度
15	5-3 形鋼梁の設計手順
16	6) 柱の設計「7.」 6-1 形鋼柱の設計
17	6-2 形鋼柱の設計手順
18	講義まとめ、演習問題

科目の教育目標・授業計画 「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0701	科 目 名	建築施工			科目区分	専任
科 目 群	建築生産	担当講師	関村 啓太			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	雨宮幸蔵ほか『誰でもわかる建築施工(改訂2版)』彰国社 (一社)日本建設業連合会編『施工がわかるイラスト建築生産入門』 彰国社			教材・参考書：			
成績評価	前期、後期の中間と期末における試験と、毎時間ごとに提出する理解確認シートにより評価。						

1. 授業概要

建築施工に関する専門用語、工法などを総合的に学ぶ。

2. 到達目標

工事の流れとそれぞれの工事内容について、必要な知識を修得する。

3. 授業計画

前期	
1	授業ガイダンス
2	建築施工のあらまし
3	建設業の変遷・施工法の変遷
4	請負契約・直営と請負契約・施工者の選定
5	入札・談合
6	見積方式・工事計画
7	工事計画の進め方・工程表
8	ネットワーク工程表
9	仮設工事・登り栈橋
10	各種足場・地下工事
11	土工事
12	山留め
13	杭工事・既製杭
14	場所打ち杭
15	各種杭工法
16	鉄筋コンクリート工事・鉄筋の加工
17	構造図の見方・圧接継ぎ手
18	講義まとめ
後期	
1	授業ガイダンス
2	型枠工事
3	場所打ちコンクリート工事・コンクリートの品質
4	各種コンクリート製品工事・PC・コンクリートブロック・ALC
5	鉄骨系工事・工場加工
6	現場作業
7	木質系工事・材料・金物
8	造作工事

9	枠組み壁工法
10	中間試験前講義まとめ
11	内装仕上げ工事・防水工事・各種防水
12	アスファルト防水
13	シーリング工事
14	タイル工事
15	石工事
16	屋根工事
17	左官工事
18	講義まとめ

科目の教育目標・授業計画 「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0702	科 目 名	建築材料			科目区分	専任
科 目 群	建築生産	担当講師	関村啓太			履修区分	必修
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	野口貴文ほか『ベーシック建築材料』彰国社			教材・参考書			
成績評価	前期中間試験 22.5%、前期期末試験 22.5%、後期中間試験 22.5%、後期期末試験 22.5%、平常点 10%						

1. 授業概要

建築を構成する材料を包括的にしめし、その性質を習得する。

2. 到達目標

建築設計を行うために使用する建築材料の特性について正しく理解し、素材の選択ができるようにする。

3. 授業計画

前期	
1	概論・規格
2	木材①
3	木材②
4	木材③
5	コンクリート①
6	コンクリート②
7	コンクリート③
8	鋼材①
9	鋼材②
10	鋼材③
11	非鉄金属
12	石材
13	タイル・レンガ
14	プラスチック
15	防水材料
16	ガラス
17	前期講義まとめ
18	前期確認試験
後期	
1	屋根材料
2	左官材料
3	内装材①
4	内装材②
5	断熱材料
6	各種金物
7	衛生陶器
8	システム
9	石こうボード
10	畳・繊維製品

1 1	接着剤
1 2	新素材①
1 3	新素材②
1 4	産業廃棄物
1 5	仕上表の読み方
1 6	施工図（割付図）の読み方
1 7	後期講義まとめ
1 8	後期確認試験

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0703	科 目 名	建築構法			科目区分	兼任
科 目 群	建築生産	担当講師	早川 慶太 足立 真輝			履修区分	必修
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	『建築構法』 市ヶ谷出版社			教材・参考書			
成績評価	定期試験と演習課題を総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築物の基礎的な構成と構造方式を学ぶ。建築物の構法が選択される背景や意図をさまざまな視点から学ぶ。

2. 到達目標

構法という視点で建築物を観たり考えたり出来るようになる。

3. 授業計画

前期	
1	構法という視点
2	躯体構法（1）
3	躯体構法（2）
4	躯体構法（3）
5	震災と構法（1）
6	震災と構法（2）
7	戦後復興と構法（1）
8	戦後復興と構法（2）
9	フィールドワーク 「東京駅見学」
10	フィールドワーク 続き
11	オリンピックと構法
12	住宅と構法（1）
13	住宅と構法（2）
14	環境と構法（1）
15	環境と構法（2）
16	デザインと構法（1）
17	デザインと構法（2）
18	講義まとめ
後期	
1	オリエンテーション
2	50mm 立方の制作（1）
3	50mm 立方の制作（2）
4	50mm 立方の制作（3）自由設計
5	50mm 立方の制作（4）自由設計
6	方形屋根の制作（平面、立面から形を導く）（1）
7	方形屋根の制作（平面、立面から形を導く）（2）
8	方形屋根の制作（平面、立面から形を導く）（3）
9	方形屋根の制作（平面、立面から形を導く）（4）
10	名建築から学ぶ 住吉の長屋（1）
11	名建築から学ぶ 住吉の長屋（2）

1 2	名建築から学ぶ 住吉の長屋（3）
1 3	名建築から学ぶ 住吉の長屋（4）
1 4	名建築から学ぶ 自由設計（1）
1 5	名建築から学ぶ 自由設計（2）
1 6	名建築から学ぶ 自由設計（3）
1 7	名建築から学ぶ 自由設計（4）
1 8	講義まとめ

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0704	科 目 名	建築積算			科目区分	兼任
科 目 群	建築生産	担当講師	原 弘光			履修区分	必修
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	建築数量積算基準			教材・参考書 積算テキスト・種積算資料			
成績評価	定期試験と演習課題を総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築数量積算基準と例題の解説および演習を行うことで、建築価額の内容や構成などを学ぶ。
--

2. 到達目標

数量積算技術の算出方法の基礎の修得する。

3. 授業計画

前期	
1	授業概要説明
2	積算概論① 定義、役割、業務の説明。総則の説明
3	直接仮設① 基準の解説、用語の説明
4	直接仮設② 計測・計算、例題の説明
5	土工地業① 基準の解説、用語の説明
6	土工地業② 基準の解説、用語の説明
7	土工地業③ 計測・計算、例題の説明
8	直接仮設・土工地業のまとめ
9	コンクリート型枠② 基準の解説、用語の説明
10	コンクリート型枠② 基準の解説、用語の説明
11	鉄筋① 基準の解説、基準の解説、用語の説明
12	鉄筋② 基準の解説、基準の解説、用語の説明
13	鉄筋③ 基準の解説、基準の解説、用語の説明
14	コンクリート・型枠・鉄筋① 計測・計算、例題の説明
15	コンクリート・型枠・鉄筋② 計測・計算、例題の説明
16	コンクリート・型枠・鉄筋③ 計測・計算、例題の説明
17	問題演習（1）
18	問題演習（2）
後期	
1	オリエンテーション
2	鉄骨① 基準の解説、計測・計算、用語の説明
3	鉄骨② 基準の解説、計測・計算、用語の説明
4	鉄骨③ 基準の解説、計測・計算、用語の説明
5	鉄骨④ 計測・計算、用語の説明
6	仕上① 基準の解説、計測・計算、用語の説明
7	仕上② 基準の解説、計測・計算、用語の説明
8	仕上③ 基準の解説、計測・計算、用語の説明
9	仕上④ 計測・計算、例題の説明
10	仕上⑤ 計測・計算、例題の説明
11	鉄骨・仕上のまとめ

1 2	改修① 基準の解説、計測・計算、用語の説明
1 3	改修② 基準の解説、計測・計算、用語の説明
1 4	内訳書① 作成、単価（刊行物記載確認）
1 5	内訳書② 作成、単価（刊行物記載確認）
1 6	内訳書③ まとめ
1 7	問題演習（1）
1 8	問題演習（2）

科目の教育目標・授業計画 「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	0801	科 目 名	設計製図 I			科目区分	専任・実務家教員
科 目 群	設計製図	担当講師	星裕一郎 他			履修区分	必修
開講学年	1 年次	開講学期	通年	単位数	8	授業形態	実習
教 科 書	超入門 建築製図			教材・参考書 参考図面を適宜配布			
成績評価	全課題提出による評価 1 0 0 %						

1. 授業概要

製図の基本となる線の引き方、線の種類や太さ、製図記号のルールを学習する。

2. 到達目標

各種図面の表現方法を木造・RC 造ごとにコピーとオリジナル設計をすることで修得する。 課題に基づいた実習を基本とするが、実際の敷地を設定し、実務に近いプロセスを経験する課題を行う。 担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいた建築設計教育を展開する。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション（用具の使い方など）
2	課題－1：「製図の基本」線，文字，記号の練習
3	「製図の基本」線，文字，記号の練習
4	「製図の基本」線，文字，記号の練習
5	課題－2：製図の表現
6	製図の表現
7	製図の表現
8	課題－3：RC の演習 その1 店舗
9	RC の演習 その1
10	RC の演習 その1
11	RC の演習 その1
12	課題－4：RC の演習 その2 住宅
13	RC の演習 その2
14	RC の演習 その2
15	課題－5：RC カフェの設計 その1
16	RC カフェの設計 その1
17	RC カフェの設計 その1
18	RC カフェの設計 その1
後期	
1	課題－6：木造住宅のコピー その1
2	木造住宅のコピー その1
3	木造住宅のコピー その1
4	木造住宅のコピー その1
5	木造住宅のコピー その1
6	課題－7：木造住宅のコピー その2
7	木造住宅のコピー その2
8	木造住宅のコピー その2

9	木造住宅のコピー その2
10	木造住宅のコピー その2
11	木造住宅のコピー その2
12	課題－8：木造住宅兼店舗の設計
13	木造住宅兼店舗の設計
14	木造住宅兼店舗の設計
15	木造住宅兼店舗の設計
16	木造住宅兼店舗の設計
17	木造住宅兼店舗の設計
18	木造住宅兼店舗の設計

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0802	科 目 名	設計製図Ⅱ		科目区分	専任・実務家教員	
科 目 群	設計製図	担当講師	小川貴之 他		履修区分	必修	
開講学年	2 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	建築製図			教材・参考書 プリント・写真・建築雑誌			
成績評価	各課題の評価と、平常点を総合的に評価する。						

1. 授業概要

各課題を通して、製図方法、技術的課題、空間の把握を学ぶ。

2. 到達目標

コンセプトから具体的建築へと展開する設計のプロセスを身につける。 課題に基づいた演習を基本とするが、実際の敷地を設定し、実際の実務に近いプロセスを経験する課題を行う。担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいた建築設計教育を展開する。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション 講師事例紹介、構造別講義
2	第1 課題「集まって住む（集合住宅）」 課題説明、事例調査、敷地模型制作
3	事例発表、エスキスチェック
4	エスキスチェック
5	作図1（平面図・断面図・立面図）
6	作図2（平面図・断面図・立面図）
7	作図3（まとめ）
8	プレゼンテーション準備
9	発表
10	第2 課題「保育園の設計」 課題説明、事例調査
11	事例発表、エスキスチェック
12	エスキスチェック
13	エスキスチェック
14	作図1（平面図・断面図・立面図）
15	作図2（平面図・断面図・立面図）
16	作図3（まとめ）
17	プレゼンテーション準備
18	発表

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0803	科 目 名	CAD I（CAD リテラシー）		科目区分	兼任	
科 目 群	設計製図	担当講師	小島善文・伊東達三		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	1	授業形態	実習
教 科 書	CAD リテラシー演習（A&A）			教材・参考書：			
成績評価	教科書課題提出と理解度、平常点を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

VW を使って、教科書の各課題の解説・実習を行い、CAD の初歩的な使い方・目的を理解する。
--

2. 到達目標

今後、CAD をデザインツールとして使って行くための、基本的な理解を高める。
--

3. 授業計画

後期	
1	オリエンテーション (授業概要・教科書の使い方/表記/構成 について)
2	第1章 作図の基礎
3	第1章 作図の基礎
4	第1章 作図の基礎 (チャレンジ課題)
5	第2章 製図の基礎
6	第2章 製図の基礎
7	第2章 製図の基礎 (チャレンジ課題)
8	第3章 効率的な作図
9	第3章 効率的な作図
10	第3章 効率的な作図 (チャレンジ課題)
11	第4章 3Dモデリング
12	第4章 3Dモデリング
13	第4章 3Dモデリング (チャレンジ課題)
14	CAD 高等ドリル
15	CAD 高等ドリル
16	CAD 高等ドリル
17	CAD 高等ドリル
18	授業まとめ

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0804	科 目 名	CADⅡ		科目区分	兼任	
科 目 群	設計製図	担当講師	安松一雄		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	できる AutoCAD2019			参考書	配布プリント		
成績評価	課題演習と出席を総合的に評価する						

1. 授業概要

業界でスタンダードになっている AutoCAD の基本操作を習得する

2. 到達目標

AutoCAD で図面作成に必要な基本操作を習得する。BIM の概念を簡単なモデリングをすることで理解する。
--

3. 授業計画

1	画面構成
2	基本操作
3	各種設定
4	ツール
5	作成
6	修正
7	寸法
8	ダイナミックブロック
9	図面レイアウト
10	製図の手順
11	建築図面作成
12	建築図面作成
13	建築図面作成
14	建築図面作成・BIM 概論
15	BIM (ArchiCAD) 演習 1
16	BIM (ArchiCAD) 演習 2
17	BIM (ArchiCAD) 演習 3
18	BIM (ArchiCAD) 演習 4

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0804	科 目 名	CADⅡ		科目区分	兼任	
科 目 群	設計製図	担当講師	小島善文／伊東達三		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	10 日でマスター！VECTORWORKS Ver. 2018/2017 対応			教材・参考書：演習データ、補足課題・補足資料			
成績評価	毎回の課題と、授業の理解度で総合的に評価する。						

1. 授業概要

VectorWorks・RenderWorks の操作方法を学習し、図面作成・プレゼンテーションのスキルを学ぶ。
--

2. 到達目標

2D/3D の各種課題を通して、総合的な表現・操作が出来るようになる。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション
2	2D 基本 01 VECTORWORKS の基本
3	2D 基本 02 2D 作図の基本(1)
4	2D 基本 03 2D 作図の基本(2)
5	2D 応用 04 2D 作図の応用(1)
6	2D 応用 04 2D 作図の応用(1)
7	2D 応用 05 2D 作図の応用(2)+2D 住宅作図
8	2D 応用 05 2D 作図の応用(2)+2D 住宅作図
9	3D 基本 06 3D モデリングの基本
10	3D 基本 06 3D モデリングの基本
11	3D 応用 07 建物のモデリング(2D/3D モデルの作成)+3D 住宅モデリング
12	3D 応用 07 建物のモデリング(2D/3D モデルの作成)+3D 住宅モデリング
13	3D 応用 08 レンダリングとテクスチャーマッピング
14	3D 応用 08 レンダリングとテクスチャーマッピング
15	3D 応用 09 カメラと光源
16	3D 応用 09 カメラと光源
17	2D/3D 10 プレゼンボードの作成
18	2D/3D 10 プレゼンボードの作成

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	0901	科 目 名	建築測量		科目区分	専任・兼任	
科 目 群	実験実習	担当講師	関村啓太 大田真		履修区分	選択必修	
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	実習
教 科 書	なし			教材・参考書：プリント			
成績評価	各種レポートの提出、内容・定期試験を総合的に評価する。						

1. 授業概要

・各測量の基礎的な知識と各種測量機器の取り扱いを理解する

2. 到達目標

・測量機器の基本的な操作方法を修得する

3. 授業計画

前期		
1	授業概要説明・測量概要	
2	水準測量 1－1（基本・チルチングレベル）	<実験室・構内外>
3	水準測量 1－2（基本・チルチングレベル）	<実験室・構内外>
4	水準測量 2－1（基本・チルチングレベル・誤差調整法）	<実験室・構内外>
5	水準測量 2－2（基本・チルチングレベル・誤差調整法）	<実験室・構内外>
6	水準測量 3－1（応用・チルチングレベル）	<実験室・構内外>
7	水準測量 3－2（応用・チルチングレベル）	<実験室・構内外>
8	平板測量 1－1（トラバース測量）	<実験室・構内外>
9	平板測量 1－2（トラバース測量）	<実験室・構内外>
10	平板測量 2－1（細部測量）	<実験室・構内外>
11	平板測量 2－2（細部測量）	<実験室・構内外>
12	角測量 1－1（基本・トランシット・方向角の算出）	<実験室・構内外>
13	角測量 1－2（基本・トランシット・方向角の算出）	<実験室・構内外>
14	角測量 2－1（応用・トランシット・トラバース・面積計算）	<実験室・構内外>
15	角測量 2－2（応用・トランシット・トラバース・面積計算）	<実験室・構内外>
16	（トータルステーションによる内角・距離測量）	<実験室・構内外>
17	レポート制作	
18	まとめ	

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1001	科 目 名	パースペクティブ			科目区分	兼任・実務家教員
科 目 群	造形基礎	担当講師	牟禮智絵子 他			履修区分	必修
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	基本・建築製図と表現方法			教材・参考書 プリント			
成績評価	各課題の評価と、平常点を総合的に評価する。						

1. 授業概要

軸測投影法（アクソノメトリック）、透視図法（1 消点透視法、2 消点透視法）の表現方法を学ぶ。

2. 到達目標

視覚表現による他者とのコミュニケーション力の修得する 課題に基づいた演習とするが、有名建築を題材とし、クライアントへのプレゼンテーションに活かせる手法を学ぶ。担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいたプレゼンテーション手法を指導する。

3. 授業計画

前期	
1	はじめに（自己紹介、授業内容、目標）
2	建築の仕事、パースの仕事、スケッチ演習
3	スケッチ演習発表
4	軸測投影法（アクソノメトリック）・ブロック 1
5	軸測投影法（アクソノメトリック）・ブロック 2
6	軸測投影法（アクソノメトリック）・立方体 1
7	軸測投影法（アクソノメトリック）・立方体 2
8	軸測投影法（アクソノメトリック）・室内
9	色・着彩（1）
10	色・着彩（2）
11	軸測投影法（課題）
12	軸測投影法（課題）
13	軸測投影法（課題）
14	軸測投影法（課題）
15	軸測投影法（課題）
16	色・着彩（1）
17	色・着彩（2）
18	軸測投影法・まとめ
後期	
1	夏休み課題（講評会）
2	1 消点透視法（パース） 1
3	1 消点透視法（パース） 2
4	2 消点透視法（パース） 1
5	2 消点透視法（パース） 2
6	2 消点透視法（課題） ビル
7	2 消点透視法（課題） ビル
8	2 消点透視法（課題） ビル

9	2 消点透視法（課題）ビル
1 0	2 消点透視法（課題）ビル（着彩）
1 1	2 消点透視法（課題）ビル（着彩）
1 2	2 消点透視法（応用） 1
1 3	2 消点透視法（応用） 2
1 4	2 消点透視法（応用） 3
1 5	2 消点透視法（応用） 4
1 6	簡易パースの演習 1
1 7	簡易パースの演習 2
1 8	消点透視法まとめ

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	1002	科 目 名	造形演習		科目区分	専任、兼任	
科 目 群	造形基礎	担当講師	牟禮 智絵子 他		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	色彩 カラーコーディネーター入門			教材・色鉛筆・トータルカラー,ポスターカラー等			
成績評価	作品評価、提出状況、平常姿勢から総合的に評価する。						

1. 授業概要

構成作品の制作を通じて、色彩理論などの色彩の基本を学ぶ。

2. 到達目標

建築のアイデアを人に伝えることのできるような描画力を身につける。

3. 授業計画

前期	
1	授業ガイダンス
2	色鉛筆の使い方/描画・混色の仕方/色の三原色/色分けによって構成を考える
3	色の三属性/ トータルカラーの色チップで制作
4	平面構成 直線分割 無彩色と2色相のトーンで表現(1)
5	平面構成 直線分割 無彩色と2色相のトーンで表現(2)
6	同時対比
7	平面構成 イメージ構成
8	平面構成
9	平面構成
10	形の基本:立方体・直方体・円筒・円錐形を描く
11	形の基本:形の複雑な形(石膏)/身近なモノのスケッチ
12	空間を捉え方:幾何形体 2 個以上の組み合わせ
13	空間を捉え方:静物スケッチ
14	空間を捉える:室内の空間スケッチ(1)
15	空間を捉える:室内の空間スケッチ(2)
16	人物クロッキー(1)
17	人物クロッキー(2)
18	人物クロッキー(3)

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	1101	科 目 名	プレゼンテーション技法		科目区分	専任・兼任	
科 目 群	卒業制作	担当講師	星裕一郎 萩原秀規		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	実習
教 科 書	なし			教材・参考書：プリントを適宜配布			
成績評価	課題提出を評価 1 0 0 %						

1. 授業概要

自ら設定したテーマについて、それを表現する 1 枚のプレゼンボードを制作することで、プレゼンテーションの基礎を学ぶ。

2. 到達目標

エスキス、発表、講評、議論を通し建築デザインに必要な、概念的思考力を身につける。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス 課題説明
2	課題 1 ダイアグラム エスキス
3	提出
4	クリティーク 1
5	クリティーク 2
6	クリティーク 3
7	クリティーク 4・発表
8	課題 2 コンセプト模型 エスキス
9	提出
10	クリティーク 1
11	クリティーク 2
12	クリティーク 3
13	クリティーク 4・発表
14	課題 3 プレゼンボード エスキス 1
15	エスキス 2
16	エスキス 3
17	エスキス 4
18	最終成果品 提出・講評

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	1102	科 目 名	現代建築論		科目区分	専任	
科 目 群	卒業制作	担当講師	星裕一郎		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	講義
教 科 書	なし			教材・参考書			
成績評価	レポート 9 0 % 平常点や授業への貢献度 1 0 %						

1. 授業概要

現代建築の潮流と展望を、現在国内外で活躍する建築家像と彼らの作品群を通して考える。

2. 到達目標

学生達が自らの言葉で現代建築について論述することで、現代建築の潮流を概観する視点を育てる。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス（講義概要説明）
2	伊東豊雄
3	妹島和世・西沢立衛 SANAA
4	Rem Koolhaas / O.M.A.
5	m.v.r.d.v
6	Herzog & de meuron
7	安藤忠雄
8	J.Pawson
9	青木淳
1 0	隈研吾
1 1	藤本壮介、五十嵐淳、長谷川剛
1 2	篠原一男、アトリエワン
1 3	Steven Holl、F.O.Gehry
1 4	Jean Nouvel、D.Perrault
1 5	Glenn Murcutt / Case Study House
1 6	構造家の仕事
1 7	都市
1 8	ランドスケープ

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	1103	科 目 名	施工管理		科目区分	兼任	
科 目 群	卒業制作	担当講師	中島 修 他		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年次	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	講義
教 科 書				教材・参考書			
成績評価	プレゼンテーション及びレポートを総合的に評価する。						

1. 授業概要

建築に関わる技術者の基礎知識として、施工管理の仕事の内容や流れを学ぶ。

2. 到達目標

建設業法による分類の各工事業種について理解する。

3. 授業計画

後期	
1	オリエンテーション
2	施工管理とは
3	建設業法について
4	安全管理 その1 グループディスカッション
5	安全管理 その2 プレゼンテーション
6	品質管理 その1 グループディスカッション
7	品質管理 その2 プレゼンテーション
8	工程管理 その1 グループディスカッション
9	工程管理 その2 プレゼンテーション
10	人・物・金の管理
11	工事業種
12	現場監督の仕事
13	就業環境の安全第一
14	環境的要因と人的要因
15	危険予知活動
16	仮設計画（1）
17	仮設計画（2）
18	講義まとめ

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	1104	科 目 名	卒業設計			科目区分	専任・兼任
科 目 群	卒業制作	担当講師	小川 貴之 他			履修区分	必修
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	6	授業形態	実習
教 科 書				教材・参考書 プリント等			
成績評価	提出作品、プレゼンテーションなどの平常点を加味して総合的に評価する。						

1. 授業概要

これまで学んだ計画論、設計手法、製図方法に基づき、自身で設定した課題を作品としてまとめ上げる実践的能力を学ぶ。

2. 到達目標

自身で設定した課題について事例調査・研究を行い、構想をまとめ作品として表現し、発表まで行える能力を修得する。

3. 授業計画

後期	
1	オリエンテーション
2	基本条件の検討（敷地／建築用途／類似建物）
3	基本条件の検討（敷地／建築用途／類似建物）
4	基本条件の決定（敷地／建築用途／類似建物）
5	ケーススタディ（類似建物の動線計画・ゾーニング計画・所要室／敷地の条件・特色）
6	ケーススタディ（類似建物の動線計画・ゾーニング計画・所要室／敷地の条件・特色）
7	ケーススタディ（類似建物の動線計画・ゾーニング計画・所要室／敷地の条件・特色）
8	中間発表
9	エスキス（ゾーニング計画／動線計画／所要室）
10	エスキス（ゾーニング計画／動線計画／所要室）
11	エスキス（ゾーニング計画／動線計画／所要室）・中間提出
12	各図面作成（配置図／平面図／立面図／断面図／3Dプレゼンテーション）
13	各図面作成（配置図／平面図／立面図／断面図／3Dプレゼンテーション）
14	各図面作成（配置図／平面図／立面図／断面図／3Dプレゼンテーション）
15	各図面作成（配置図／平面図／立面図／断面図／3Dプレゼンテーション）
16	全体図面作成（各図面のトータルプレゼンテーション）・模型制作
17	全体図面作成（各図面のトータルプレゼンテーション）・模型制作
18	卒業設計発表会

科目の教育目標・授業計画 「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1201	科 目 名	基礎学力講座			科目区分	専任
科 目 群	特別講座	担当講師	小川貴之 他			履修区分	選択
開講学年	1 年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	なし			教材・参考書：プリント資料等			
成績評価	課題提出、理解度や平常点で総合的に評価する。						

1. 授業概要

本学科の専門分野を習得するために必要な基礎学力を学ぶ

2. 到達目標

専門分野を学ぶ上で最低限必要な基礎学力を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	基礎学力試験（1）
2	基礎学力試験（2）
3	校内学力試験の解説—数学（1）
4	校内学力試験の解説—数学（2）
5	校内学力試験の解説—国語（1）
6	校内学力試験の解説—国語（2）
7	基礎学力試験の解説（1）
8	基礎学力試験の解説（2）
9	文章作成講座（1）
10	文章作成講座（2）
11	文章作成講座—メール（1）
12	文章作成講座—メール（2）
13	文章作成講座（3）
14	文章作成講座（4）
15	構造力学基礎（1）
16	構造力学基礎（2）
17	まとめ（1）
18	まとめ（2）

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1202	科 目 名	インテリア計画演習			科目区分	兼任
科 目 群	特別講座	担当講師	鈴木 一彰			履修区分	選択
開講学年	2 年次	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書	なし			参考書	プリント資料等		
成績評価	課題、および平常点を総合的に評価する						

1. 授業概要

インテリアの基礎知識を基に、テーマに基づいた実践的演習を行う。

2. 到達目標

演習課題制作を通して、インテリアに係る実践的知識、スキルを習得する。

3. 授業計画

1	オリエンテーション
2	グループディスカッション（1）
3	グループディスカッション（2）
4	グループディスカッション（3）
5	発表
6	Fusion を用いたモデリング演習（1）
7	Fusion を用いたモデリング演習（2）
8	Fusion を用いたモデリング演習（3）
9	Fusion を用いたモデリング演習（4）
10	インテリア設計課題演習 説明
11	エスキス（1）
12	エスキス（2）
13	エスキス（3）
14	中間発表
15	制作（1）
16	制作（2）
17	制作（3）
18	最終発表

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1203	科 目 名	建設と社会			科目区分	兼任
科 目 群	特別講座	担当講師	河村 春美			履修区分	選択
開講学年	1・2 年次	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	福祉住環境コーディネーター 2 級 公式テキスト			教材・参考書：過去問題			
成績評価							

1. 授業概要

福祉の面からみた住環境を学ぶ中で、建築・福祉機器・福祉制度等の知識を習得する。

2. 到達目標

福祉住環境コーディネーター2 級試験レベルの知識を理解する。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス（試験制度の解説、授業内容の説明）
2	高齢者の生活状況と住環境整備
3	介護保険制度の概要
4	障害者の生活と住環境
5	障害の定義ととらえかたの変遷～地域包括ケアと地域リハビリテーションの必要性
6	まとめ講義、問題演習
7	高齢者の身体的特性～在宅生活を支える介護の基本姿勢
8	高齢者に多い疾患の特徴（関節リュウマチ等）
9	高齢者に多い疾患の特徴（パーキンソン病等）～肢体不自由（脊髄損傷）
10	肢体不自由（進行性疾患、脳性麻痺等）
11	内部障害（心臓機能障害等）
12	聴覚・言語障害～知的・精神障害
13	まとめ講義、問題演習
14	介護保険とケアマネジメント～相談援助の方法
15	関連職種の関わり方～福祉住環境整備の進め方
16	段差の解消と床の選択～建具への配慮
17	スペースや家具・収納への配慮～玄関の住環境整備
18	前期まとめ講義
後期	
1	ガイダンス（前期の振り返り、後期授業内容の説明）
2	屋内移動（廊下）～排泄
3	入浴～就寝
4	建築図面のルールと読み方～住宅建築における見積もりの基礎知識
5	福祉用具の意味と適用～スロープ・段差解消機等
6	リフト・吊具～生活動作補助用具
7	まとめ講義、問題演習
8	模擬試験
9	模擬試験

1 0	改修プラン実習（１）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 1	福祉機器の見学、体験
1 2	改修プラン実習（２）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 3	改修プラン実習（３）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 4	改修プラン実習（４）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 5	改修プラン実習（５）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 6	改修プラン実習（６）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 7	改修プラン実習（７）（脊髄損傷者の住宅改修事例を参考に）
1 8	改修プラン実習発表、まとめ

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	1204	科 目 名	資格講座（１）			科目区分	兼任
科 目 群	特別講座	担当講師	安松 一雄			履修区分	選択
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	3	授業形態	講義
教 科 書	なし			教材・参考書：なし			
成績評価	模擬試験、平常点を総合的に評価する						

1. 授業概要

インテリアコーディネーター１次試験の受験対策講座。

2. 到達目標

インテリア資格試験のための知識を習得し、１次試験合格を目指す

3. 授業計画

後期	
1	試験について 過去問題の紹介（１次、２次）
2	インテリアの歴史
3	インテリア計画
4	色彩と造形 家具
5	ウィンドウトリートメント 各種エレメント
6	構造と施工
7	材料
8	建具
9	環境工学
10	住宅設備
11	照明
12	表現技法
13	建築関連法規
14	消費者関連法規 まとめ
15	模擬試験（１）
16	模擬試験（１）解説
17	模擬試験（２）
18	模擬試験（２）解説

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」						学 科 名	建築学科
科目番号	1204	科 目 名	資格講座（１）			科目区分	専任
科 目 群	特別講座	担当講師	関村 啓太			履修区分	選択
開講学年	２ 年	開講学期	前期	単位数	3	授業形態	講義
教 科 書	『令和３年度版 ２級建築施工管理技士 第一次検 定・第二次検定 問題解説』総合資格学院 『令和３年度版 ２級建築施工管理技士 第一次検 定テキスト』総合資格学院			教材・参考書：なし			
成績評価	確認試験による						

1. 授業概要

２級建築施工管理技術検定の出題傾向を解説し、過去問題を解き、理解を深める。

2. 到達目標

２級建築施工管理技術検定に要求される知識を習得し、試験合格を目指す。

3. 授業計画

後期	
1	環境工学Ⅰ・Ⅱ
2	各種構造
3	構造力学
4	施工共通
5	躯体工事①
6	躯体工事②
7	躯体工事③
8	躯体工事④
9	仕上げ工事①
10	仕上げ工事②
11	仕上げ工事③
12	法規
13	施工管理
14	過去問題演習①
15	過去問題演習②
16	過去問題演習③
17	過去問題演習④
18	模擬試験

科目の教育目標・授業計画「2021 年度」					学 科 名	建築学科	
科目番号	1205	科 目 名	資格講座（2）		科目区分	専任・兼任	
科 目 群	特別講座	担当講師	関村 啓太 他		履修区分	選択	
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	3	授業形態	講義
教 科 書	なし			教材・参考書：なし			
成績評価	確認試験による						

1. 授業概要

二級建築士の出題傾向を解説し、過去問題を解き理解を深める。

2. 到達目標

これまでに習得した知識を復習して、試験合格を目指す。

3. 授業計画

後期	
1	計画①環境工学（気候・空気・熱・光）
2	計画②環境工学（気候・空気・熱・光）
3	計画③建築設備（空気調和設備・給水設備・排水設備）
4	計画④建築設備（空気調和設備・給水設備・排水設備）
5	構造①構造力学（力の釣合、荷重、モーメント）
6	構造②構造力学（力の釣合、荷重、モーメント）
7	構造③一般構造（荷重・構造計画）
8	構造④一般構造（RC 造、S 造、木造）
9	法規①用語の定義・確認申請
1 0	法規②面積・高さの算定・居室の天井の高さ
1 1	法規③防火地域・防火区画
1 2	法規④建蔽率・容積率・高さ制限
1 3	施工①仮設工事・土工事・杭工事
1 4	施工②鉄筋工事・型枠工事
1 5	施工③コンクリート工事
1 6	施工④鉄骨工事
1 7	確認試験①
1 8	確認試験②